

4.2.1.4.2. 検索詳細

前提条件

- ・ 最大 5 個(左から数えて 5 個目)までのキーワードを指定可能。6 個目以降は無視する。
- ・ デフォルトの検索方法は「部分一致+AND 検索」とする。

ユーザが明示的に前方一致、後方一致検索を指定することも可能

例)「頭 * △ * 骨折」の場合は『「頭」の前方一致 and 「骨折」の後方一致』

キーワード『骨折△右腕△骨盤△癌』の場合

- ① 索引用語(非標準病名も含むが指定されている場合は非標準病名テーブルも含む)を元に「* 骨折 * and * 右腕 * and * 骨盤 * and * 癌 *」で検索を実行する。
- ② 検索結果 > 0 の場合は、検索結果をリスト表示し検索処理を終了する。
- ③ 検索結果 = 0 の場合は、「キーワードを減らして検索」ボタンを有効にする。
- ④ 「キーワードを減らして検索」ボタンを押下すると下記のルールに沿って検索を実行する。
- ⑤ 「骨折」を完全一致検索で検索する。(索引用語、指定されていれば非標準病名も対象)
- ⑥ 「右腕」を完全一致検索で検索する。(索引用語、指定されていれば非標準病名も対象)
- ⑦ 「骨盤」を完全一致検索で検索する。(索引用語、指定されていれば非標準病名も対象)
- ⑧ 「癌」を完全一致検索で検索する。(索引用語、指定されていれば非標準病名も対象)
- ⑨ 例 1) 「骨折」の検索結果>0、「右腕」=0、「骨盤」=0、「癌」=0 の場合

検索結果=0 件のものを 1 つ減らして再検索を行い、得られた検索結果をリスト表示する。

以下の検索結果をリスト表示する。

1. 「骨折」
2. 「* 骨折 * and * 右腕 * and * 骨盤 *」
3. 「* 骨折 * and * 右腕 * and * 癌 *」
4. 「* 骨折 * and * 骨盤 * and * 癌 *」

3 回の検索の結果、検索結果=0 の場合は、フッターに「見つかりませんでした」を表示して検索処理を終了する。(減らすのは 1 つだけとし、2 つ減らして検索⇒3 つ減らして検索等はしない)

例 2) 「骨折」の検索結果>0、「右腕」=0、「骨盤」=0、「癌」>0 の場合

以下の検索結果をリスト表示する。

1. 「骨折」
2. 「癌」
3. 「* 骨折 * and * 癌 * and * 右腕 *」
4. 「* 骨折 * and * 癌 * and * 骨盤 *」

例 3) 「骨折」の検索結果=0、「右腕」=0、「骨盤」=0、「癌」=0 の場合

以下の検索結果をリスト表示する。

1. 「*骨折* and *右腕* and *骨盤*」
2. 「*骨折* and *右腕* and *癌*」
3. 「*骨折* and *骨盤* and *癌*」
4. 「*右腕* and *骨盤* and *癌*」

例 4) 「骨折」の検索結果>0、「右腕」>0、「骨盤」>0、「癌」=0 の場合

以下の検索結果をリスト表示する。

1. 「骨折」
2. 「右腕」
3. 「骨盤」

例 5) 「骨折」の検索結果>0、「右腕」>0、「骨盤」>0、「癌」>0 の場合

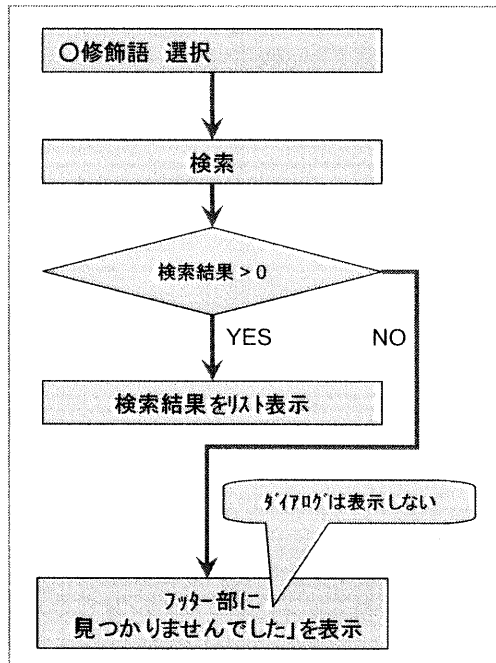
以下の検索結果をリスト表示する。

1. 「骨折」
2. 「右腕」
3. 「骨盤」
4. 「癌」

- ⑩ 「キーワードを減らして検索」で検索した結果、検索結果=0 の場合は、フッター部に「見つかりませんでした」を表示して検索処理を終了する。

4.2.1.5 修飾語検索

4.2.1.5.1. 検索フロー

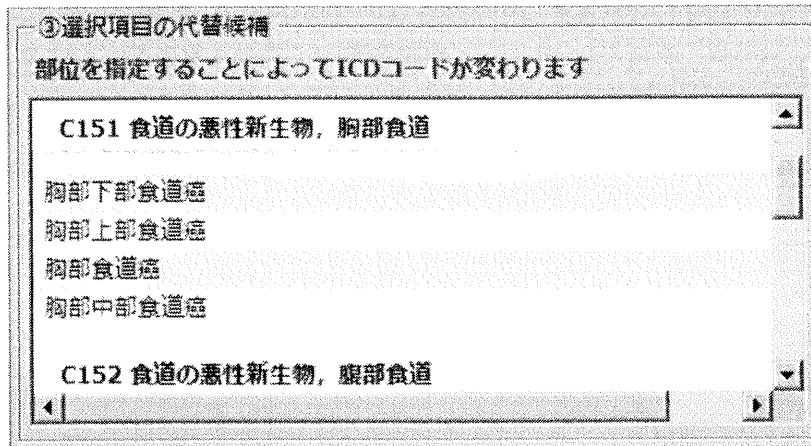


4.2.1.5.2. 検索詳細

キーワード『頭△一日△頭部△圧迫』の場合

- ① 索引用語を元に「*頭* and *一日* and *頭部* and *圧迫*」で検索を実行する。
- ② 検索結果 > 0 の場合は、検索結果をリスト表示し検索処理を終了する。
- ③ 検索結果 = 0 の場合は、フッター部に「見つかりませんでした」を表示して検索処理を終了する。

4.2.2. ICD10コード決定支援機能①領域(代替候補選択)



4.2.2.1 コントロール一覧

	コントロール	サブコントロール	概要
1	代替メッセージ	----	傷病名検索領域から選択された傷病名の代替候補に定義されているメッセージを表示する。メッセージが設定されていない場合はブランクとなる。
2	代替リスト	----	代替として定義されている ICD10 および属する傷病名をリスト表示する。

4.2.2.2 リスト項目一覧

	コントロール	列	概要
1	代替リスト	見出し	代替として定義されている ICD10 コードおよびその見出しを表示する。 ICD10コードによるグルーピングを行う。
2		傷病名	該当 ICD10 コードに含まれる傷病名を表示する。

4.2.2.3 検索基本条件

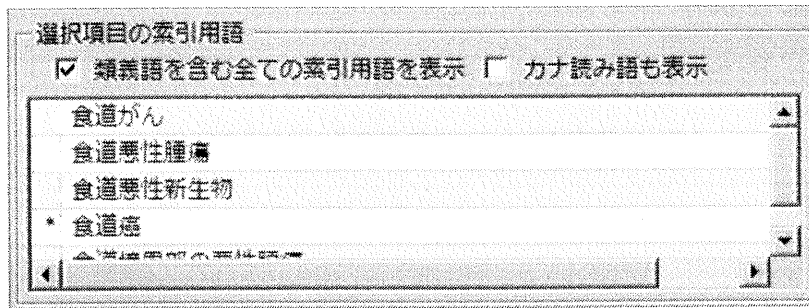
①ICD10 代替候補

	条件名	条件
1	ICD10コード	傷病名検索領域で選択された傷病名の ICD10コード 『代替候補マスタ.ICD10コード』
2	ソート順	『代替候補マスタ.ICD10コード』の昇順

②傷病名

	条件名	条件
1	ICD10コード	上記代替候補 ICD10コードと同一の ICD10コードを持つもの 『病名基本マスタ.ICD10コード』
2	変更区分	『病名基本テーブル.変更区分』が下記のもの 0:前版と内容が同一のもの(変更なし) 3:今版で新たに追加されたもの(新規追加) 5:前版から内容が変更されたもの(変更)
3	同義語区分	『索引テーブル.同義語区分』が下記のもの 0:索引用語が病名表記自体のもの 1:索引用語が病名表記とほぼ同義のもの
4	採択区分	『病名基本マスタ.採択区分』が下記のもの 1:病名表記がレベル1病名 2:病名表記がレベル2病名 3:病名表記が互換表記
5	ソート順	同一グループ(同一 ICD10コード)内の傷病名は『病名基本マスタ.病名表記カナ』の昇順

4.2.3. 索引用語一覧領域



4.2.3.1 コントロール一覧

	コントロール	サブコントロール	概要
1	選択項目の同義語	類義語も含む	「類義語を含む全ての索引用語を表示」する際、ONにする。
2		カナ読み語も表示	「カナ読み語も表示する」する際、ONにする。
3	選択項目索引用語一覧リスト	----	傷病名検索領域で選択した傷病名の索引用語一覧を表示する。

4.2.3.2 リスト項目一覧

傷病名の索引用語

	コントロール	列	概要
1	選択項目索引用語一覧リスト	互換情報	傷病名検索領域で選択した傷病名の病名交換用コードを元に病名基本マスタを検索し、『病名基本マスタ.採択区分 = 1:レベル 1 病名』の病名表記を取得し、『索引用語 = 病名表記』の場合に「*」を表示する。
2		索引用語	索引用語を表示する。 『索引テーブル.索引用語』

修飾語の索引用語

	コントロール	列	概要
1	選択項目索引用語一覧リスト	互換情報	常にブランク
2		索引用語	索引用語を表示する。 『索引テーブル.索引用語』

4.2.3.3 検索基本条件

傷病名の索引用語

	条件名	条件
1	対応用語コード	傷病名検索領域で選択した傷病名の病名交換用コードと一致するもの 『病名基本マスタ.病名交換用コード = 索引テーブル.対応用語コード』
2	病名修飾語区分	『索引テーブル.病名修飾語区分』が下記のもの 1:病名
3	同義語区分	①「類義語を含む」が OFF 1:索引用語が病名表記とほぼ同義のもの ②「類義語を含む」が ON 0:索引用語が病名表記自体のもの 1:索引用語が病名表記とほぼ同義のもの 2:索引用語が病名表記と類義のもの
4	か漢字区分	①「か読み語」が OFF 1:索引用語が傷病名からの漢字文字列のもの 9:その他(検索用に収載された部分文字列) ②「か読み語」が ON 1:索引用語が傷病名からの漢字文字列のもの 2:索引用語が傷病名からのか文字列のもの 9:その他(検索用に収載された部分文字列)
5	ソート順	『索引テーブル.索引用語の昇順+索引テーブル.か漢字区分の降順』

修飾語の索引用語

	条件名	条件
1	対応用語コード	修飾語検索領域で選択した修飾語の修飾語交換用コードと一致するもの 『修飾語テーブル.修飾語交換用コード = 索引テーブル.対応用語コード』
2	病名修飾語区分	『索引テーブル.病名修飾語区分』が下記のもの 2:修飾語
3	同義語区分	①「類義語を含む」が OFF 1:索引用語が修飾語表記とほぼ同義のもの ②「類義語を含む」が ON 0:索引用語が修飾語表記自体のもの 1:索引用語が修飾語表記とほぼ同義のもの 2:索引用語が修飾語表記と類義のもの
4	か漢字区分	①「か読み語」が OFF 1:索引用語が修飾語からの漢字文字列のもの 9:その他(検索用に収載された部分文字列) ②「か読み語」が ON 1:索引用語が修飾語からの漢字文字列のもの 2:索引用語が修飾語からのか文字列のもの 9:その他(検索用に収載された部分文字列)
5	ソート順	『索引テーブル.索引用語の昇順+索引テーブル.か漢字区分の降順』

4.2.4. ICD10 コード決定支援機能④領域(合成候補選択)

④選択項目の合成候補			
傷病名	ICD10	交換用J...	管理番号
第1中手骨骨折	S6220	+R868...	+27001...
大腿骨頸部外側骨折	S7200	+R868...	+27000...
大腿骨頸部外側骨折	S7200	+R868...	+27000...
上腕骨内側上顆骨折	S4240	+R868...	+27001...
頸椎棘突起骨折	S1290	+R868...	+27000...
中手手根間関節骨折	S6230	+R868...	+27001...

4.2.4.1 コントロール一覧

	コントロール	サブコントロール	概要
1	選択項目合成候補一覧リスト	----	傷病名検索領域で選択した傷病名に対応する合成候補一覧を表示する。 選択した傷病名の病名交換用コードを含む合成候補を一覧表示する。

4.2.4.2 リスト項目一覧

	コントロール	列	概要
1	選択項目合成候補一覧リスト	傷病名	合成語表記を表示する。 『合成語 ICD コードテーブル.合成語表記』
2		ICD10	合成語 ICD10 を表示する。 『合成語 ICD コードテーブル.合成語 ICD10』
3		交換用コード	合成語交換用コードを表示する。 『合成語 ICD コードテーブル.正規化連結交換用コード』
4		管理番号	合成語管理番号を表示する。 『合成語 ICD コードテーブル.合成語管理番号』

4.2.4.3 検索基本条件

	条件名	条件
1	病名管理番号	選択した傷病名の病名交換用コードを持つもの 『病名基本マスタ.病名交換用コード』が、合成語 ICD コードテーブル.正規化連結交換用コード』に含まれる。

4.3. ICD10 領域

4.3.1. ICD10 領域

傷病名領域からの選択時(通常時)

ICD10情報		ICD10情報	
傷病名	食道癌	傷病名	胃腸腫瘍
連結表記傷病名		連結表記傷病名	
ICD10見出し	食道の悪性新生物, 食道, 部位不明	ICD10見出し	M73
ICD10(傷病名ICD10)	C159	ICD10(傷病名ICD10)	M73
ICD10複数分類		ICD10複数分類	
交換用J-T	CE5R	交換用J-T	MAYK
傷病名J-T	1509003	傷病名J-T	6144004
管理番号(連結表記)	20065271	管理番号(連結表記)	20063024

傷病名領域からの選択時(ICD10-2013 検索時)

ICD10情報		ICD10情報	
傷病名	食道癌	傷病名	足関節
連結表記傷病名		連結表記傷病名	
ICD10見出し	食道の悪性新生物, 食道, 部位不明	ICD10見出し	M73
ICD10	C159	ICD10	M73
ICD10複数分類		ICD10複数分類	
ICD10-2013	C159	ICD10-2013	M73
ICD10-2013複数分類		ICD10-2013複数分類	
交換用J-T	CE5R	交換用J-T	K355
傷病名J-T	1509003	傷病名J-T	6176001
管理番号	20065271	管理番号	20068678

代替候補からの選択時

ICD10情報(代替候補から選択された傷病名の情報です)

傷病名	胸部下部食道癌	
連結表記傷病名		
ICD10見出し	食道の悪性新生物, 胸部食道	
ICD10(傷病名ICD10)	C151	
ICD10複数分類		
交換用J-コード	CEPN	
傷病名J-コード	8842701	
管理番号(連結表記)	20087479	

ICD10決定の条件選択

ICD10見出し一覧表示

診断群分類表示

合成候補からの選択時

ICD10情報(合成候補から選択された傷病名の情報です)

傷病名	大腿骨頸部外側骨折	
連結表記傷病名	+大腿骨+頸+部+外側+骨折	
ICD10見出し	大腿骨頸部骨折	
ICD10(傷病名ICD10)	S7200	T1420
ICD10複数分類		
交換用J-コード	+R868+1139+1181+1961+520	
傷病名J-コード		
管理番号(連結表記)	30000313	+27000831+27000

ICD10決定の条件選択

ICD10見出し一覧表示

診断群分類表示

4.3.1.1 コントロール一覧

各コントロールの背景は、選択された場所によって変わる。

傷病名検索領域から選択された傷病名の ICD10 情報表示時:INI で指定

代替候補選択領域から選択された傷病名の ICD10 情報表示時:INI で指定

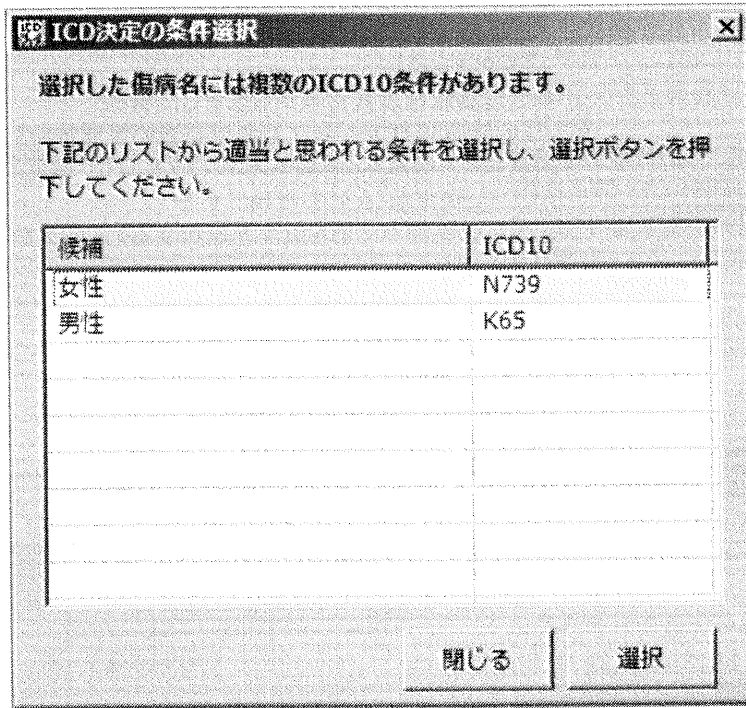
合成候補選択領域から選択された傷病名の ICD10 情報表示時:INI で指定

	コントロール	サブコントロール	概要
1	タイトル	----	<ul style="list-style-type: none"> ◆傷病名検索領域から選択された傷病名の ICD10 情報、ICD10-2013 情報を表示時は下記のように表示される。 『ICD10 情報』 ◆代替候補選択領域から選択された傷病名の ICD10 情報を表示時は下記のように表示される。 『ICD10 情報(代替候補から選択された傷病名の情報です)』 ◆合成候補選択領域から選択された傷病名の ICD10 情報を表示時は下記のように表示される。 『ICD10 情報(合成候補から選択された傷病名の情報です)』
2	傷病名	----	<ul style="list-style-type: none"> ◆傷病名検索領域または代替候補選択領域から選択された傷病名の場合 『病名基本マスタ.病名表記』 ◆合成候補選択領域から選択された傷病名の場合 『合成語 ICD コードテーブル.合成語表記』
3	連結表記傷病名	----	<ul style="list-style-type: none"> ◆傷病名検索領域、代替候補選択領域から選択した場合 『常にブランク』 ◆合成語候補選択領域から選択した場合 『合成語 ICD コードテーブル.合成語連結表記』
4	ICD10 見出し	----	<p>選択された傷病名の ICD10 見出しを表示する。 『ICD10 見出し.ICD10 見出し』</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆傷病名検索領域、代替候補選択領域から選択した場合(ICD10 検索の場合) 『選択された傷病名の ICD10 コードを使用』 ◆傷病名検索領域、代替候補選択領域から選択した場合(ICD10-2013 検索の場合) 『選択された傷病名の ICD10-2013 コードを使用』 ◆合成候補選択領域から選択した場合 『合成語 ICD コードテーブル.合成語 ICD 見出し』を使用

	コントロール	サブコントロール	概要
5	ICD10	-----	<p>選択された傷病名の ICD10 コードを表示する。</p> <p>◆傷病名検索領域、代替候補選択領域から選択した場合 『選択された傷病名の『病名基本マスタ.ICD10』を使用』</p> <p>◆合成語候補選択領域から選択した場合 『合成語 ICD コードテーブル.合成語 ICD』を使用</p>
6	傷病名ICD	-----	<p>◆傷病名検索領域、代替候補選択領域から選択した場合 『常にブランク』</p> <p>◆合成語候補選択領域から選択した場合 『合成語 ICD コードテーブル.病名部分 ICD』</p>
7	推奨	-----	<p>代替候補を選択すべき場合、このメッセージを表示する。不要時は非表示 『代替候補の選択を推奨』</p>
8	ICD10 複数分類	-----	<p>選択された傷病名の複数分類コードを表示する。 『病名基本マスタ.ICD10 複数分類コード』</p>
9	ICD10-2013		<p>選択された傷病名の ICD10-2013 コードを表示する。</p> <p>◆傷病名検索領域から選択した場合 『選択された傷病名の『病名基本マスタ.ICD10-2013』を使用』 ※他の領域から選択された場合は非表示となります</p>
10	ICD10-2013 複数分類		<p>選択された傷病名の複数分類コードを表示する。 『病名基本マスタ.ICD10-2013 複数分類コード』 ※傷病名検索領域から選択された場合のみ表示。他の領域から選択された場合は非表示となります</p>
11	交換用コード*	-----	<p>選択された傷病名の交換用コードを表示する。</p> <p>◆傷病名検索領域、代替候補選択領域から選択した場合 『病名基本マスタ.病名交換用コード』</p> <p>◆合成候補選択領域から選択した場合 『合成語 ICD コードテーブル.正規化連結交換用コード』</p>
12	傷病名コード*	-----	<p>選択された傷病名の傷病名コードを表示する。</p> <p>◆傷病名検索領域、代替候補選択領域から選択した場合 『病名基本マスタ.レセ電算コード』</p> <p>◆合成候補選択領域から選択した場合 『常にブランク』</p>
13	管理番号	-----	<p>選択された傷病名の管理番号を表示する。</p> <p>◆傷病名検索領域、代替候補選択領域から選択した場合 『病名基本マスタ.病名管理番号』</p> <p>◆合成候補選択領域から選択した場合 『合成語 ICD コードテーブル.合成語管理番号』</p>

	コントロール	サブコントロール	概要
14	連結表記管理番号	----	<p>◆傷病名検索領域、代替候補選択領域から選択した場合 『常にブランク』</p> <p>◆合成語候補選択領域から選択した場合 『合成語 ICD コードテーブル、合成語連結管理番号』</p>
15	ICD10 条件選択	----	<p>選択された傷病名の『病名基本マスタ ICD10 確度』が「Cxx」の場合、ボタンを有効にする。 このボタンを押下すると条件を選択するダイアログが表示される。</p>
16	ICD10 見出し一覧ボタン	----	<p>選択された傷病名が属する ICD10 見出し一覧ダイアログを表示する。</p>
17	診断群分類表示ボタン	----	<p>選択された傷病名の ICD10 コードを引数として「ふくろうくん」を起動する。</p>

4.3.2. ICD10コード決定支援機能②(複数 ICD 候補選択ダイアログ)



4.3.2.1 コントロール一覧

	コントロール	サブコントロール	概要
1	複数 ICD 候補リスト	----	傷病名検索領域から選択された傷病名の ICD10 確度が「Cxx」の場合に、選択可能な ICD10 候補を表示する。
2	選択ボタン	----	ダイアログを閉じ、選択した ICD10 候補に属する傷病名を傷病名検索領域に表示する。 リスト項目のダブルクリックも同様の処理を行う。
3	閉じるボタン	----	ダイアログを閉じる。

4.3.2.2 リスト項目一覧

『病名基本マスタ.複数 ICD 候補』には「;」で区切られて複数定義されている。それらを分解しリスト表示する。

例)「男性=N979;女性=N46」

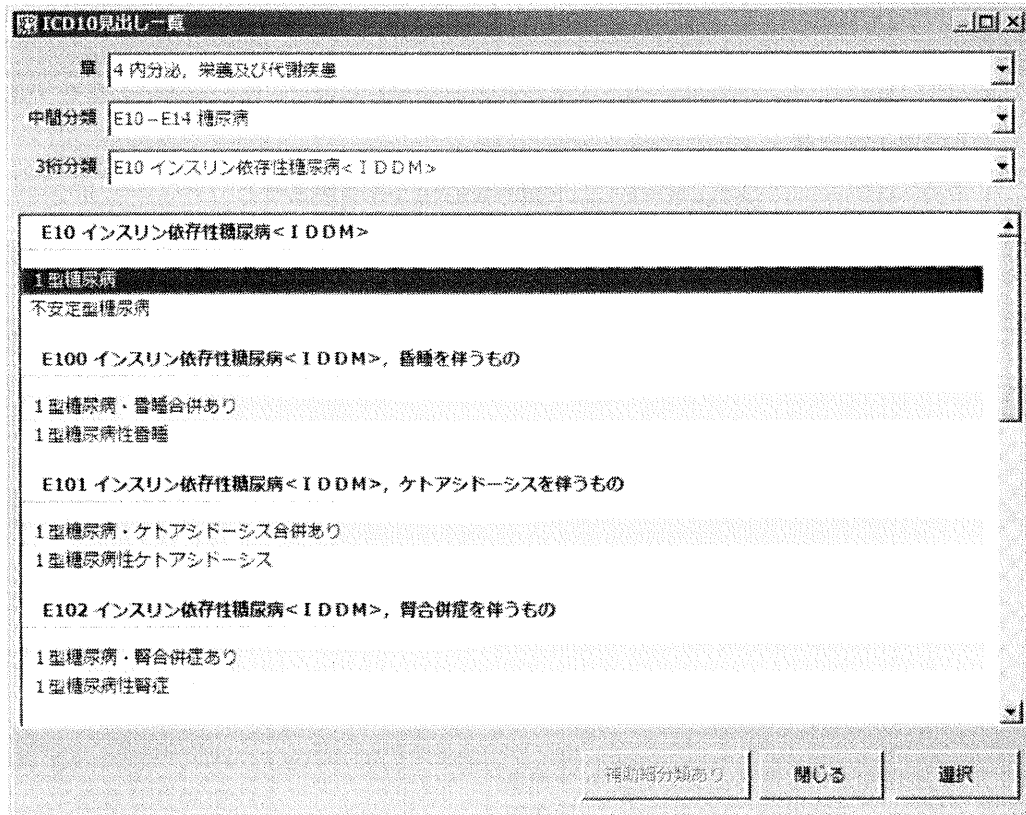
	コントロール	列	概要
1	その他不明代替候補リスト	候補	傷病名検索領域から選択された傷病名の複数 ICD 候補に定義されている候補名を表示する。 『病名基本マスタ.複数 ICD 候補』の“=”の左側項目
2		ICD10	上記の ICD10 コードを表示する。 『病名基本マスタ.複数 ICD 候補』の“=”の右側項目

4.3.2.3 検索基本条件

	条件名	条件
1	複数 ICD 候補	傷病名検索領域から選択された傷病名の複数 ICD 候補に定義されている ICD のみ 『病名基本マスタ.複数 ICD 候補』

4.3.3. ICD10コード決定支援機能③(ICD10 見出し一覧ダイアログ)

ICD10-2013 検索から呼び出された場合は ICD10-2013 見出し一覧が表示され、その他の検索時は ICD10 見出し一覧が表示される。



4.3.3.1 コントロール一覧

	コントロール	サブコントロール	概要
1	章	----	章を選択するプルダウン項目 章単位で ICD10 見出しを表示する。
2	中間分類	----	章で分類された ICD10 範囲をさらに中間分類した ICD10 見出し
3	3 桁分類	----	中間分類に含まれる ICD10 範囲を 3 桁分類した ICD10 見出し
4	ICD10 見出しリスト	----	指定された ICD10 および属する傷病名をリスト表示 する。 ICD10-2013 検索から呼び出された場合、 ICD10-2013 コードとなる
5	補助細分類あり	----	表示している小分類に ICD5 桁目情報が存在する 場合、このボタンが有効になる。ボタンを押下すると ICD10 桁目情報ダイアログが表示される。

	コントロール	サブコントロール	概要
6	閉じる	-----	本ダイアログを閉じる
7	選択	-----	ダイアログを閉じ、選択した傷病名の ICD10 に属する傷病名を傷病名検索領域に表示する。 リスト項目のダブルクリックも同様の処理を行う。

4.3.3.2 リスト項目一覧

	コントロール	列	概要
1	ICD10 見出し リスト	ICD10 見出し	選択された ICD10 見出しに対応する ICD10 または ICD10-2013 が 4 桁以上のものをリスト表示する。 ICD10 コードによるグルーピングを行う。
2		傷病名	該当 ICD10 コードまたは ICD10-2013 コードに含まれる傷病名を表示する。

4.3.3.3 検索基本条件

①章

	条件名	条件
1	ソート順	『ICD10 見出し.章』の昇順

②中間分類

	条件名	条件
1	章	章で選択した章 『ICD10 見出し.章』
2	ソート順	『ICD10 見出し.ICD10 中間分類』の昇順

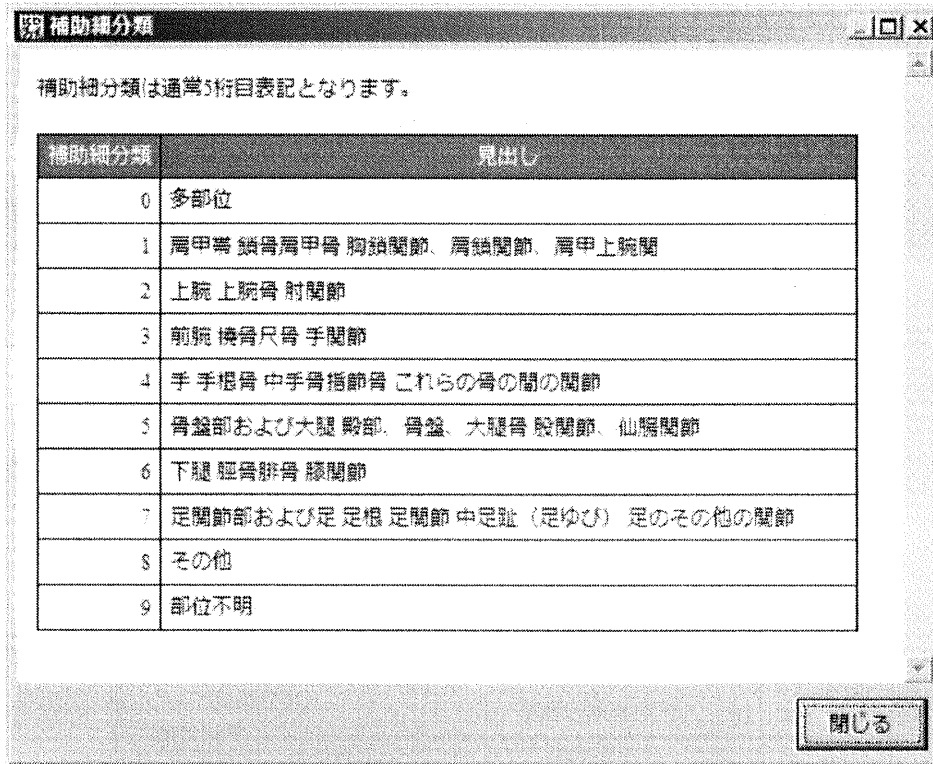
③3 析分類

	条件名	条件
1	中間分類	章で選択した章 『ICD10 見出し.中間分類』
2	ソート順	『ICD10 見出し.ICD10 小分類』の昇順

④傷病名

	条件名	条件
1	ICD10 コード	3 析分類で選択した ICD10 コードの範囲に含まれる ICD10 コードを持つもの 『病名基本マスタ.ICD10 コード』
2	変更区分	『病名基本テーブル.変更区分』が下記のもの 0:前版と内容が同一のもの(変更なし) 3:今版で新たに追加されたもの(新規追加) 5:前版から内容が変更されたもの(変更)
3	同義語区分	『索引テーブル.同義語区分』が下記のもの 0:索引用語が病名表記自体のもの 1:索引用語が病名表記とほぼ同義のもの
4	採択区分	『病名基本マスタ.採択区分』が下記のもの 1:病名表記がレベル 1 病名 2:病名表記がレベル 2 病名 3:病名表記が互換表記
5	ソート順	同一グループ(同一 ICD10 コード)内の傷病名は『病名基本マスタ.病名表記カナ』の昇順

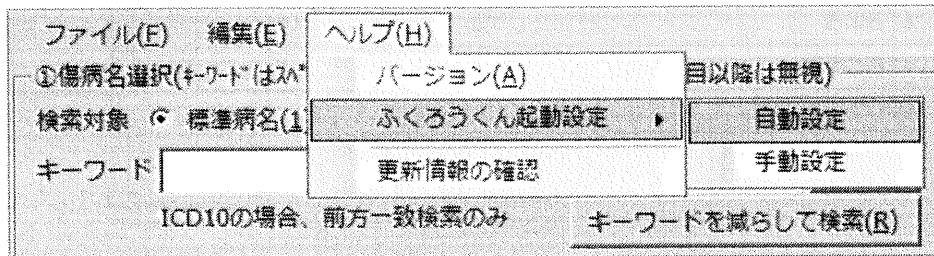
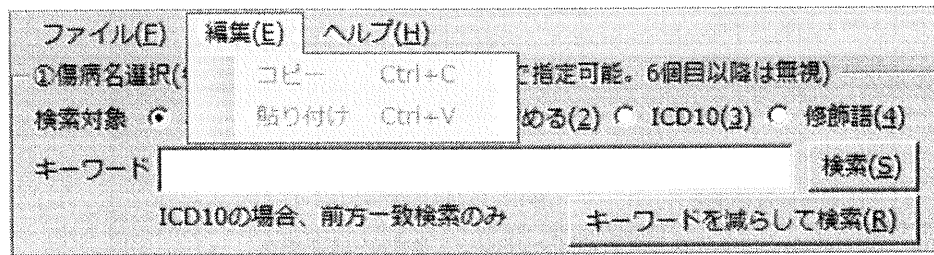
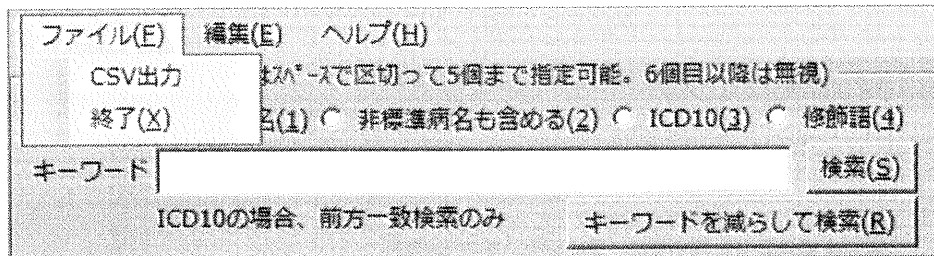
4.3.4. 5 桁目表記情報ダイアログ



4.3.4.1 コントロール一覧

	コントロール	サブコントロール	概要
1	Html	----	5 桁目情報の HTML を表示する。 属する細分類グループに対応する HTML を表示する。
2	閉じる	----	章で分類された ICD10 範囲をさらに分類した ICD10 見出し

4.3.5. メニュー



4.3.5.1 コントロール一覧

	コントロール	サブコントロール	概要		
1		----	ルート		
2	ファイル(&F)	CSV 出力	傷病名の検索結果を CSV 出力する。 修飾語の検索結果を CSV 出力する。		
3		終了(&X)	アプリケーションを終了する。		
4	編集	----	ルート		
5		コピー(&C)	選択された文字列をクリップボードにコピーする。		
6		貼り付け(&V)	クリップボードの内容を貼り付ける。		
7	ヘルプ(&H)	----	ルート		
8		バージョン(&A)	バージョン情報ダイアログを表示する。		
9		ふくろうくん起動設定	自動設定	起動するふくろうくんを自動的に検索し、起動可能にする。	
			手動設定	起動するふくろうくんを手動で選択し、起動可能にする。	
10		更新情報の確認	アプリケーションやマスタがアップデートされていないかチェックするツールを起動する。		